

令和5年度事業報告

事業目的

神崎市及びその周辺の住民が自発的に行う非営利の公益活動（以下「CSO活動」という）の持続促進を支援する事業を行い、行政や企業、様々なCSOとの円滑な連携を図るとともに自らの活動を通じて、魅力と活力に満ちた幸せつなぐ地域づくりに寄与する事を目的とする。

総括的事項

CSO活動拠点「神幸館」設置活動18年目（法人成4年目）を迎え、CSOの施設利使用（定例会や会議、サークル活動など）年間利活用回数282回、利活用人員のべ3,573名の利活用があり、多様な相談業務対応など含めると年間約1万人以上出入りがありました。利活用はまだまだ増加傾向にあり、様々なCSOや地域より様々な高いニーズを肌で感じています。

新型コロナウイルス感染症の5類移行により少しずつ様々な活動やイベント等が再開してきており、CSO主体で行われる長崎街道かんざき宿場まつりやかんざき神幸食フェスタ、みゆき大祭など地域において代表されるイベント等の窓口業務をはじめ、神崎町子どもクラブ連絡協議会などの事務委託業務なども拠点業務として確立しており、中間支援組織としての機能が更に高まってきました。

また、隣接する神崎市勤労者体育館の平日利用者窓口機能実施にて多くの利用者（社会スポーツ系CSO）の利便性も高まり、重要な拠点機能となっています。

命題である市民協働推進については、地域地縁CSO活動等を中心に伝承文化各種行事などがあらためて重要な地域コミュニティとしての見直しが見直しがもたれており、それぞれの地域ニーズに合わせた協働活動認識への高まりが見られ、更なる推進充実が見られてきました。

「地域共有課題の解決と地域の多種多様な団体の人的ネットワークの形成」も様々なしかりで推進中であり、今後も継続して実践サポートを行い、さらなる市民・CSO主体による協働のまちづくり推進・実践構築にて引き続き「未来へ幸せつなぐ地域づくり」を目指し活動しました。

櫛田宮・長崎街道の歴史的建築物と歴史文化を生かした活気ある中心市街地の再生活動として、まずは行動へと中心市街地再生へ向けた試験的要素も持つ、かんざき「櫛田の市」を毎月継続して行いました。

併せて行う「第12回神幸節分祭」では、より縁起深く盛り上げようと地域社会へ多くの除災招福と櫛田宮はもとより周辺の中心市街地の賑わい創造を願って今回も地域総鎮守である櫛田宮の参道へ縁ある多様なCSOにて大型のお多福面設置を行いました。

毎回、設置期間中の多数の来場者もちろんの事、櫛田の市は70店出店となり、神埼市内外からのべ7,000人の来場者が詰めかけ、大盛況となりました。

すっかり、皆さんから親しまれる神埼の代表的な催しとなり、近年を代表する創造型地域コミュニティとなっています。

さらに、継続して行っているまちづくりワークショップも中心市街地拠点づくりを中心に引き続き行っており、単なる商業者だけでの市街地（商店街）再生活動では無く、中心市街地の再生が地域そのものの（ひいては神崎市）大きな社会課題としての取り組みが見られ、地元自治会や関係CSOによる重点協働活動として、拠点利活用等による将来の再生へ向けた地域の士気高揚へ繋がった活動となっています。

また、懸案の旧庁舎跡地基本構想・計画や長崎街道歴史的建物活用（観光まちづくり構想）

も動き始めており、併せて行う水をテーマとしたかんざき「水の郷」再生市民会議活動と協働した宿場まつり馬場川プロジェクトをはじめ、清掃活動／乾杯プロジェクト等もスタートしており、旧庁舎跡地基本構想では「水の郷」馬場川親水公園を生かし広げる「かわまちづくり事業（案）」が進み出しました。

お陰様で今年度も様々な事業を行う事ができました。

これらの事業実施について、神崎市や佐賀県はもとより、市民や各種CSOの方々の深いご理解と支援・協力にて成り立っており、心より御礼申し上げます。

事業内容

- 1 CSO活動拠点としてのCSOの業務推進・活動支援
 - ・各種CSO、サークル等への活動場所としての会場貸し出し
 - ・各種CSO等窓口業務委託受入推進ならびに自立支援他
神埼町子どもクラブ連絡協議会事務委託
子供みこし振興会業務委託
締元行列保存会事務委託 他

- 各種イベント窓口事務局受入
第5回かんだき神幸食フェスタ実行委員会事務局受入（窓口業務他全般）
第29回長崎街道かんだき宿場まつり事務局受入（窓口業務他全般）



※4年ぶりフル開催

まちなか賑わい持続啓発プロジェクト「つなぐくしだ」WEBサイト運営

- 神崎市郡医師会事務局・神崎ライオンズクラブ事務局受入管理業務
- 神崎市勤労者体育館の利用者窓口業務

2 市民協働推進

- 神崎市まちづくり市民活動支援事業 相談他サポート
- CSO人材育成事業 研修会、交流会等の開催
- 拠点として関わる各種事業に常に「しかけ」を組み市民協働推進啓発活動
- 佐賀県CSO提案型協働創出事業窓口として参画対応
- 佐賀県より採択された「市町業務の担い手あり方についての提案」
「中心市街地賑わい再生活動に関わる運営担い手づくり事業」として継続活動。

3 中心市街地賑い再生事業

- 神崎市中心市街地賑い再生「まちづくりワークショップ」実施
神崎市中心市街地拠点づくり事業への参画 平成21年より窓口事務局
長崎街道門前広場ならびに旧古賀銀行神崎支店 利活用・管理運営等協議
を実施
- かんだき「櫛田の市」の取組み
毎月第1土曜日に長崎街道門前広場 旧古賀銀行神崎支店 櫛田宮境内（能舞台他）を会場に開催。（1月のみ第2土曜日）
お陰様で、多くのなじみ客が増加しており、人が行き交う催しとして定着して令和5年10月で12周年を迎え、3月で第150回の開催となりました。
季節や地域既存行事等へ併せての開催を心掛けての運営をはじめ、お客様感謝抽選会等実施して来場集客アップを企画実施。
近年は多様なCSOからの協働体制や参画が見られ、飲食、アクセサリー等コーナー増強や子どもコーナー読み聞かせ、昔遊び、各種体験コーナー設置等の出店数増加に伴い、若い世代からのリピーター増加。

- 中心市街地 賑わい再生PR発信事業

CSOかんざき神幸館「幸せまち歩き」WEBサイトを活用して、神幸食フェスタ、長崎街道かんざき宿場まつりや櫛田の市（節分祭）をはじめ、長崎街道門前広場や

旧古賀銀行など情報発信

今後も西九州大生や商工会青年部等若手と協働して第2弾3弾と継続し取り組みを行います。また、長崎街道門前広場や旧古賀銀行情報も内容決定次第発信準備中です。

4 かんざき情報発信ならびに活動PR

- CSOかんざき神幸館HP

<http://kamisachi.jp/happy/>



令和5年度の事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 CSOかんだき

1 事業実施の内容

新型コロナウイルス感染症の5類移行により少しずつ様々な活動やイベント等が再開してきており、神幸館を活動拠点として持続して多様なCSO等の活動支援や多様な団体ネットワークづくり、情報収集・発信及び啓発等事業実施。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出額 (単位:千円)
①CSO等の支援に関する事業	CSO活動支援業務推進・充実活動実施	(A)通年 (B)神幸館～ 神崎市内外 (C)2人	(D)神崎市 内および 周辺の市 民、CS O等 (E)のべ1万 人以上	0
②CSO活動に関する住民・行政・企業等のネットワークに関する事業	第14回 つなごう地域 つなげよう気持ち「地域 人づくり まちづくりサミ ット」 ※佐賀県地域づくりネット ワーク協議会の「人とまちを つなぐプロジェクト」2024 自発の地域づくり情報交換・ 交流会を共催実施	(A) — (B) 神崎市内外 (C) 2人	(D) 神崎市 内および 周辺の市 民、CS O等 (E) 0人	17

③ CSO 活動に関する情報収集・発信及び啓発に関する事業	CSO活動に関する情報の収集・発信 市民協働推進実施	(A) 通年 (B) 神埼市内外 (C) 2人	(D) 神埼市内および周辺の市民、CSO等 (E) のべ1万人以上	310
④ CSO 活動拠点管理運営事業	「神幸館」の管理運営事業実施 利活用回数 282回 利活用人員のべ 3,573人 (届出数のみ 通常利用者除く)	(A) 通年 (B) 神幸館 (C) 2人	(D) 神埼市内および周辺の市民、CSO等 (E) のべ1万人以上	1,989
⑤ 教育訓練事業	西九州大学あすなろう体験 ならびにコミュニティスクール推進校の神埼高校との「総合的な探究の時間」を活用した地域連携活動	(A) 通年 (B) 櫛田の市宿場まつり (C) 2人	(D) 西九州大学、神埼高校生 (E) のべ100人	0
⑥ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	かんざき「櫛田の市」事業 多様なCSOと協働した持続開催	(A) 月1回 (B) 長崎街道門前広場 旧古賀銀行神埼支店 櫛田宮 (C) 10人程度	(D) 神埼市内および周辺の市民 (E) のべ3万人以上	1,733